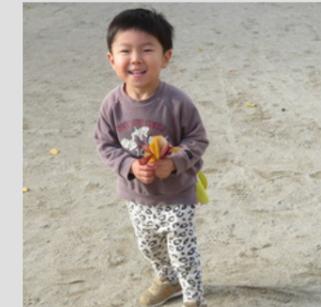




# 1 身体を動かすことを楽しむ



身体を動かすことが大好きなきのこ組！毎日の朝の会では音楽を流すと音に合わせて一斉に踊ったり、歌ったりとノリノリの子どもたち。保育者のダンスに合わせて手や足を大きく動かしながら踊ったり、ピアノに合わせて身体を動かしたりすることを楽しんでいます。



保育室では細くて長い平均台にもチャレンジ！落ちないようにそーっと渡ったり、慣れてくるとスピードつけて渡ったり、時にはかんに変身して横歩きで進んでみると、子どもたちなりに考えて平均台を渡る姿が見られました。

戸外では元気いっぱい身体を動かしています。遊具や砂場だけでなくしっぽ取りやストライダーにもチャレンジしています。時には転んでしまうこともありますが、子どもたちは転んでもすぐに立ち上がり戸外での遊びを思う存分楽しんでいます。



身体を動かすことに加えて、仲良し椅子取りゲーム（椅子取りゲームのルールを少し変えた遊び）やサーキット遊びなどのルールのある遊びを取り入れています。列に並んで自分の順番を待ったり、少しずつ遊びの中にあるルールを守って保育者を交えて遊んだりしています。自分の思いと相手の思いがぶつかることもありますが子どもたちの思いを受け止めながら、ルールのもとで共に遊ぶ楽しさが広がるように援助していきたいです。

# 2 自分らしさを表現する



「自分でやりたいけれど、手伝ってもほしい」「自分だけでやりたいけれど、周りのお友達がしていることも気になる。でも手を出されるのは嫌だ」。自分らしさを発揮していく2歳という年齢の子どもたちは集団生活の様々な場面で、それぞれ色々な葛藤や迷い、壁にぶつかりながら日々を過ごしています。自分の思いをうまく伝えられずに葛藤する姿や自分でチャレンジしたいけれどなかなか一人ではできなかつたりする姿など、様々な心の揺れ動きやもどかしさを毎日表現しています。「嫌だ」という思いも「先生見てみて～！」「自分でできたよ！」という思いも受け止めつつ、自分を受け止めてもらえる安心感が相手の思いを少しずつ受け止めるような姿に繋がっていくよう、安心して過ごせる空間になるように努めていきたいと考えています。





### 3 切る・貼る・作る

#### ①切る……………✂️

2学期に入りはさみを用いた活動を取り入れました。最初はうまく指に力が入らなくなったり、思うように操作できなったりと苦戦していましたが、コツを掴むとぱつんと切れる楽しさを感じながら繰り返し取り組む様子が見られました。また、それと同時にはさみを使う上で危ない事もある事を知った子どもたちです。



#### ②貼る……………📄

はじめは、指についた糊の感触が苦手だったり、いつのまにか手全体が糊だらけになったりしながらも、片方の指で押さえて反対側の指で糊を塗り広げ、それを対象物に貼っていきます。貼るという何気ない行為にも、左右の手や指をうまく操作する巧緻性が求められ、真剣な眼差しで集中しながら取り組む姿が見られました。



#### ③作る……………📦

これまで使ってきたはさみや糊、新聞紙を使って子どもたちが宝と宝箱と宝の地図を作りました。新聞紙を丸めたり、糊を使って折り紙を貼り付けたり、絵の具を使って模造紙いっぱいに絵の具を塗り、宝探しをする準備は万端です！



### 4 宝探しをしよう！



自分たちで作った前述の「お宝」を使って宝探しを行いました。宝を隠すチームと見つけるチームに分かれると、はじめのうちは宝を隠すチームは同じ場所に何個も宝を隠していましたが、何回も繰り返し遊んでいくうちに、「さっきはすぐに見つけれられたから見つけにくい場所にしよう」という意識が出てきた様子。「ここなら見つからないかな」と相手のことをなんとなく考えてなのか、子どもたちの目線からは見えないところや物の後ろに隠すなど、見つけにくい場所に宝を隠すのがどんどん上手になってきました。宝を探すチームもいつも隠されている場所に宝がないことに戸惑いの表情を浮かべながら、いつもは探さないような場所や木の上の方にも視野を広げ始めます。宝さがしを通して目には見えない相手の思いを探り合うような、まさに自分の思いだけでなく相手の思いを感じながら少しずつ受け止めていく、そんな2歳児らしい育ちを感じられるような1コマでした。

